

令和5年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒山麓公園				
所在地	奈良県生駒市俵口町2088番地				
指定管理者名	モンベル・あおはに共同体	指定期間	開始日	平成 26 年 7 月 1 日	
利用料金制適用区分	不適用		終了日	令和 6 年 6 月 30 日	
選定方法	非公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 10 年目		
設置目的	金剛生駒紀泉国定公園の緑豊かな自然環境の中で、市民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供される市内有数の公園で、ふれあいセンター、野外活動センター、フィールドアスレチック、テニスコートなど公園内に設置し、市民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的としている。				
主な実施事業等	生駒山麓公園運営（指定管理＝公園部分、テニスコート。自主事業＝フィールドアスレチック、野外活動センター）、ふれあいセンター運営（指定管理＝温浴施設、研修室。自主事業＝売店。占用事業＝レストラン）、市民対象イベントの実施				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
フィールドアスレチック	人		41,147	84.7%	2月1日－3月8日まで臨時休業
野外活動センター	人		34,213	108.0%	
ふれあいセンター研修室	人		11,385	176.9%	新型コロナウイルスの5類移行により、香泊利用に増加がみられたため
ふれあいセンター浴場	人		67,158	94.5%	
テニス	人		21,715	104.5%	

3 事業収支

(千円)

		事業計画	事業報告(実績)	(参考) 前年度実績
収入計	A	266,902	237,380	239,724
指定管理料		174,509	174,509	174,509
利用料金収入	C	0	0	0
自主事業収入		83,776	60,215	61,018
その他		8,617	2,656	4,197
支出計	B	262,078	242,585	238,819
指定事業費		183,126	182,863	178,706
うち人件費	D	58,689	63,896	59,563
うち再委託料	E	50,633	37,914	50,584
自主事業費		78,952	59,722	60,113
事業収支	A－B	4,824	-5,205	905
利用料金比率	C/A	0.0%	0.0%	0.0%
人件費比率	D/B	22.4%	26.3%	24.9%
再委託費比率	E/B	19.3%	15.6%	21.2%
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無		有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等	
	①浴場利用者の駐車マナー違反について ②浴場洗い場の占拠について ③免許証（本人確認）コピーでの割引対応		①注意喚起POPの設置 ②同上 ③原本での提示を改めてお願い	

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	障がい者就労支援の維持継続を鑑み、園内各所の植栽管理業務を委託することで、活躍の場の提供を行った。今年度は新たにケーブルカー周辺に植栽をおこなうことで、市民の憩いの場となるように彩りを加えた。
市の評価	多目的広場の管理業務については、昨年度同様障がい者就労の場として一般社団法人イーデンホールに業務を委託した。
指定管理者による自己評価	障がい者の自立を目的とした継続的な就労支援業務を通じて、例年とは異なる形で公園の魅力向上に務めることができました。今年度は、ケーブルカー周辺に市民が憩えるスペースとして植栽を行う工夫が施され、より魅力的な園内となりました。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	公園各所の利用方法等について、問合せごとに案内内容が異ならないよう各種情報共有を密にし、対応を心がけた。利用時間を厳守していただき、不正な利用がないように声かけをおこなった。
市の評価	常に公平性を保ちながら、来場者への丁寧な対応向上に努められていました。また、問い合わせに対しては関係法令等を踏まえた適切な回答がなされておりました。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	市民専用駐車場の擁壁に柵が無く、転落の恐れがあると意見をいただいた。すぐに仮設のロープ柵を設置。生駒市担当課への情報共有および協議を重ねた。また、グラウンド付近の歩道をバイクが走行し危険との意見をいただき、すぐに侵入口ヘカラーコーンの設置をおこない、侵入防止をおこなった。
市の評価	利用者からのさまざまな要望に対して、規定を遵守しつつ、理解を得られるよう丁寧かつ迅速な対応が見受けられました。また、利用者の意見や問い合わせに対しても、利用者の目線に立った柔軟なアプローチがなされておりました。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	モンベル本社との打ち合わせの際、積極的にWEBシステムを活用することで交通費や燃料費等の縮減を試みた。併せて消耗品等の購入の際、購入品や仕入れ業者の選定を複数人でおこなう、裏紙を使用する等で経費の縮減を行った。
市の評価	オンライン利用を通じて、経費削減や管理運営の効率化に配慮した業務が行われていました。細部にわたる取組を継続することで、結果的に大きな経費の縮減につながっている様子が見受けられました。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	公式HP NEWS欄にてイベント情報をはじめ利用促進に関する各種情報掲載の実施及び利用履歴のある各種団体様への案内（団体様向けおすすめ利用プラン案内冊子）送付した。また、後日電話をおこない、ニーズを聞き取ることにより、団体利用の促進及び増収を図った。
市の評価	広く利用者や各種団体に届きやすい媒体を活用することで、利用者の増加を促進されていました。また、後日電話でのフォローアップや細やかな聞き取りを行うことで、さらなる利用者の増加と増収に向けた努力が見受けられました。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	スタッフの異動や退職に合わせ、適切な人員配置を検討実施し、お客様へのきめ細かなサービス提供体制を整えた。広報活動については、これまで同様、各種団体様へおすすめ利用プラン等を掲載した資料を送付し、利用促進に努めた。また、指定管理代表団体であるモンベルの直営店舗に施設案内を配架し、指定管理者のネットワークを活かした集客にも引き続き力を入れた。野外活動センターでは生駒の地酒を販売することにより、生駒の活性化に寄与した。
市の評価	異動に際しては、前任者からの適切な業務引継ぎが行われており、管理運営に支障が出ないように努められていました。広報活動についても、市の広報誌を活用した生駒市内の利用者向けの情報発信や、他県からの利用者を対象としたウェブサイトでの広報など、幅広いアプローチが見受けられました。また、生駒市の地酒をさまざまな地域からの利用者が見られる同園で販売を行うことで、生駒市の広報に寄与いただきました。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	野外活動センターのWEB予約システム運用を継続した。その中で、予約受付が正確かつ迅速に完結できるよう、システムの改善点把握及び更新を継続したことで、お客様の利便性向上を心がけた。食器等を組み合わせたセットでレンタルすることで、お客様に利用していただきやすくなった。
市の評価	WEB予約システムの導入により、利用者の利便性が大幅に向上しました。システムの更新や改善点を積極的に模索することで、利用者の多様なニーズに応える業務が展開され、サービスの向上につながっていると感じました。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	事故・災害発生時に迅速に対応できるよう、職員間でスムーズな連絡の取れる自社のシステムを使用した。園内の異常に迅速に気付けるよう、巡回を逐一実施し修繕が必要な箇所についてはスタッフが迅速に補修等をおこなった。生駒市の協力を得て、アスレチック、野外活動センターの枯損木処理を進めることで、倒木事故の回避に努めた。
市の評価	自社システムの導入により、事故や火災に対する迅速な対応が可能となり、危機管理体制の向上が見受けられました。職員によるきめ細やかな確認作業を通じて、多くの修繕や補修が必要な業務や災害を未然に防ぐことができました。また、本市との連携により、枯損木の処理を行うことで倒木事故の回避にも努められました。

サービスの安定的な提供（安定性）	
	事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）
	指定管理者による自己評価
	指定管理事業及び自主事業に関して、引き続きお客様のご要望に応えること、利便性を高めることを日々意識し、各種運営を継続した。イベント事業に関してもイベントを継続して開催することで、サービスの向上、安定したイベント運営を可能とした。
	市の評価
利用者の多様な要望に耳を傾けることで、安定した施設を継続的に提供されていました。また、自主事業に関してはアンケートを実施し、利用者のニーズに応える体制を整えられていました。	
社会福祉施設に準じた評価	
施設の設置目的の達成（有効性）	
	施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）
	指定管理者による自己評価
	公園内整備等業務や花苗栽培及び植栽、レストラン業務、厨房内の調理業務また、アスレチック受付等を通じ、障がいのある方それぞれの状況にあった福祉支援を提供している。ビニールハウス活用による花苗の生産力向上により、公園内ケーブルカー周辺に1万本の植栽をおこなった。閑散期に合わせたレストランメニューの開発等、これらの業務を継続及び発展させることで工賃を得て、働くことに対する意識を高めるとともに、積極的な社会生活を営める機会となっている。
	障がいのある方の状況や特性に応じた福祉支援について、評価できます。また、レストラン事業については、繁忙期や閑散期に関わらず、継続した就労支援につながるよう創意工夫され、都市公園法を遵守し、適切なレストラン運営にも努められた。
	利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）
	指定管理者による自己評価
	利用者の方それぞれの特性に沿った働く機会の提供や支援に対し、ご本人やご家族から満足の声をいただいている。指定管理期間満了後の説明についても、回数を重ね丁寧におこなった。課題が表出した際には、福祉関係機関と連携し、課題解決に努めている。また、特別支援学校や相談支援、個人の方からの実習を積極的に受け入れ、来年度も新規利用者希望を頂戴している。
	就労支援等の福祉支援状況について、積極的な情報発信により、相談機関や特別支援学校からにとどまらず、個人からの新規利用希望を受けているほか、関係機関とも適切に連携している点も評価できる。
適正な施設の管理運営（適正性）	
	施設の管理運営の実施状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）
	指定管理者による自己評価
	充実した福祉支援の体制のために、法定職員配置数以上の職員を配置し、きめ細やかな対応を心掛けている。職員の支援の質の向上のために、内部研修を積極的に実施している。生駒市障がい福祉課と連携し、生駒市役所での販売をおこなうなど地域との連携を図った。
	人員配置については、法定職員配置数以上の職員を配置し、体制を整えておられた。また、職員に対する内部研修を積極的に実施し、職員の支援の質の向上に向けて取り組まれた。
	安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）
	指定管理者による自己評価
	福祉サービス利用者の個人情報に関しても個人情報保護法に則った管理を徹底し、不備なく実施している。傷病発生時は、マニュアルに沿って協力医療機関と連携している。
	個人情報の管理にあたっては、個人情報の保護に関する法律等の規定に則り、適切に行われた。事故発生時の報告なども行われていた。

6 指定管理者の財務の状況

(千円)

株式会社モンベル

非公表

社会福祉法人青葉仁会

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産	4,629,690	5,146,971	5,146,970
流動資産	462,431	921,090	921,090
固定資産	4,167,259	4,225,881	4,225,880
負債	150,093	398,958	398,957
流動負債	150,093	398,958	398,957
固定負債	0	0	0
純資産	4,479,597	4,748,014	4,748,013
資本金	4,479,597	4,748,014	4,748,013
売上高	1,808,713	1,941,961	1,971,333
経常利益	353,792	298,754	240,923

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

株式会社モンベル

非公表

社会福祉法人青葉仁会

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自己資本比率 純資産/資産×100	96.8%	92.2%	92.2%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	3.4%	8.4%	8.4%
固定比率 固定資産/純資産×100	93.0%	89.0%	89.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	308.1%	230.9%	230.9%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	93.0%	89.0%	89.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	39.1%	37.7%	38.3%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	7.6%	5.8%	4.7%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、宿泊者の利用が増え、公園内にはにぎわいが見られた。 また、花の彩り事業を拡充することにより、障がい者が活躍できる場となり、市民に憩いの場を提供することも可能となった。 指定管理業務終了の為、今後の業務改善については割愛いたします。
市の評価
新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、利用者の増加が見られましたが、大きな混乱もなく業務を滞りなく遂行された点を高く評価いたします。障がい者就労に関しては、来園者の促進につながる、利用者の多く見られる場での業務提供等に工夫が見られ、本園の魅力向上につながりました。また、自主事業については、長期間の指定管理者としての経験を活かし、季節や時期に応じて利用者のニーズに合った事業を企画されており、利用者が繰り返し来園いただけるような公園づくりを実施されているように見受けられました。さらに、HPや本市広報誌を通じて多方面へのアプローチを行うことや、アンケートの実施等で情報収集を行いサービスの向上や、安定したイベントの提供を行うことで、利用者の増加に寄与されていることも印象的でした。